

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
実践看護学特別研究	1・2	後期・通年	8	演習 240時間
<p>(概要) 自己の興味・関心のある健康問題に関する研究課題を見出し、主体的に文献検討、研究計画書および倫理審査申請書類作成に取組み、研究を実施し、修士論文を作成する。</p> <p>(橋本裕二) 慢性心血管疾患をもつ人や高齢者とその家族の健康促進に向けた長期的な療養・生活支援に関する研究指導を行う。</p> <p>(田中美恵子) 精神的な健康に関連した問題を抱え、医療・福祉機関において保健医療福祉的なサービスを受けている人、または精神的な問題を抱えながら適切な支援・サービスを受けていない人への看護的援助に関連する研究への取り組みについて指導を行う。</p> <p>(岡本明美) がん患者とその家族への援助、がん看護に関わる看護師の実践能力の向上など、がん看護領域における看護の質向上に寄与する研究指導を行う。</p> <p>(栗栖千幸) 看護サービス実践が地域で医療提供をしている施設（病院、施設、訪問看護ステーション等）の経営に与える影響に関する研究指導を行う。</p> <p>(大野知代) 子どものライフスタイルや健康を取り巻く環境（家庭、地域、学校等）の特性および実態に基づき、子どもの生涯を通じてのよりきめ細やかな健康課題と健康教育の看護的支援に関する研究指導を行う。</p>				